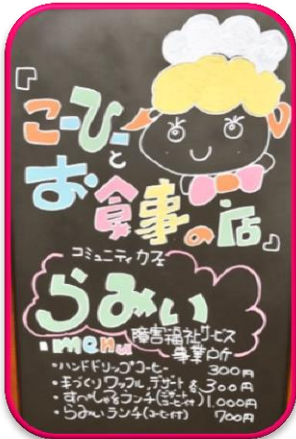


### ～コミュニティカフェらみい～ そのチャレンジに幸あれ



弘前市安原に、コミュニティカフェらみいがあります。ここはカフェでありながら障がい者福祉サービス事業所でもあり、地域コミュニティとしての役割も担っています。障がいがあるスタッフを含め5名で運営しており、店内は落ち着いた雰囲気できゅくりと食事が出来る空間となっています。

お店を始めたきっかけは、養護学校時代から得意だった洗い物や家事を健常者や一般の方々と触れ合うカフェという接客の場で生かしてほしい。そんなスタッフみんなの思いからでした。中でも特に目を引くのは、お店に入ってすぐ掲示してある**チャレンジランチ**というメニューです。チャレンジランチとは、木曜日を除いた営業日の4日間メニューをランダムに選び、障がいを持ったスタッフが調理したものを300円でお客様に提供するというコミュニティカフェならではのサービスです。調理や盛り付けまで全てがチャレンジ、しかし絶対に手抜きはしない。そこには、らみいで働くみなさんのこだわりがあります。



チャレンジするその過程で失敗はつきもの、それは障がいのあるなしに関わらず必要な考え方です。しかし、ハンディキャップを持った方々には、そもそも活躍する場が用意されていない現実があります。調理、接客を含めて全て自分1人で行うことで自信がつき、また新しい目標を目指してチャレンジする。らみいは『出来なかったことが出来るようになる』そんな環境です。らみいのみなさんの生き生きと話す姿がとても印象的でした。

そんな、らみいが目指すのは、らみいで働く障がい者の一人一人が輝けるコミュニティカフェであること。地域のみんでそのチャレンジを応援することが出来れば、社会はもっと優しく豊かになれる。地域のみんなの拠り所とし、これからも愛されるお店であってほしいと思いました。

ボランティアスタッフ：石岡佳樹



**コミュニティカフェらみい**  
弘前市安原3丁目2-17  
営業時間：10時～15時  
※日曜、月曜日は定休日  
駐車場有



### キッズネットクラスからのお知らせ



月に1回(火曜日)、10:00～11:30(集合9:20)に弘前市総合学習センターでキッズネットクラスを開催しています。1998年からスタートしたキッズネットクラスは、今年度で20年目を迎える子育て支援活動です。参加対象は、就学前のお子さんと保護者で、参加者とスタッフたちが一緒に活動しながら交流を図っています。「お金をかけずにお家で楽しめる遊び」をテーマにした活動を通して、親御さんが抱える子育てに関する不安や悩みを解消することや、情報交換やネットワークを作ることを目的としています。

毎回の活動としては、カラーロープを使った遊びや、音楽に合わせて軽い体操をしています。その他に、各回のテーマに合わせてダンボールや新聞紙、牛乳パックを使った簡単なものづくりをしながら楽しく活動しています。ボランティアの内容は、乳児を抱っこしてあやしたり、工作のお手伝いをしたり、子どもと一緒に遊んだりすることです。興味のある方、子ども好きな方は、ご都合のよろしい日にお気軽にご参加ください。

【活動日】 10月9日(火) 11月13日(火) 12月4日(火)、お問い合わせ：弘前市立中央公民館  
1月8日(火) 2月12日(火) TEL:0172-33-6561



## 弘前ねぶたがきっかけで



いま私は、自分の住んでいる町会の町会長として、青少年育成委員として、子ども会の育成にあたり、あるいはウォーキング(歩こう会)や文化財を探求する仲間たちと趣味の会を組織し、また他団体が行う事業で人手が足りなければ支援するなど、様々な活動をさせていただいております。

思い起こせば、私が自発的な意思で社会参画活動—ボランティア活動—を始めたのは、小学校5年生の時と言えるかも知れません。その当時、町会には、子ども会というものがないので、町会長のお許しをいただき、私自身で子ども会を立ち上げたのです。

子ども会を設立した最大の理由は、自分たちの「ねぶた」を作りたかったからです。私の家の近くに、足に障害があり、ねぶたに参加できない子どもがいました。私は何とか彼にもねぶたの楽しさを味わってもらいたかったのです。

国内外を問わず、どこの誰でも(健常者に限らず心身にハンデキャップのある人でも)ねぶたを体験したかったら自由に参加できるねぶたを製作運行したかったのです。

今年も、この初志にかなった「ねぶた」を運行でき、連日、他県から弘前を訪れた方々に弘前ねぶたを体験していただきました。

私の活動は、確かに多くの方々と協力し合いながら自発的に行動し、代償を求めることもありませんので、自発性・無償性・利他性・先駆性などを理念とするボランティア活動と言えるかも知れませんが、本人はボランティアだと自覚しておりません。私の頭と身体が動いてくれて、他人様に認知症ではと疑われない限り活動して参りたいと思っております。

今井二三夫



ふくろう通心 65号に掲載した「不登校新聞」編集長の石井志功さん来弘し参加したねぶたがなんと今井さんが立ち上げた「ねぶた」だったことが後で分かりました。不思議なご縁ですね(笑)。

## 弘前城植物園ボランティア募集



日時：10月15日(月)・16日(火) 午前9時～午後4時 1日だけでも参加できます。

集合場所：弘前城植物公園南案内所前 (駐車場はございませんので各自ご用意ください)

内容：菊まつりに向けた花苗植栽 募集人数 10人程度

申込方法：事前に電話でお申し込みください。

問い合わせ・申込み先

一般財団法人 弘前市みどりの協会

電話 0172-33-8733

植物や自然に興味がある方をお待ちしています。



## 豆知識

ビルクリーニング技能士の豊田章吾さんに聞く掃除に関するエトセトラ最終回のテーマは

『身の回りのお掃除便利グッズ』です。

### ★アルミホイール

丸めて洗面器の水アカ取りに。2, 3個丸めて排水口に入れておくと汚れ・ヌメリを分解します。

### ★クレジットカード・キャッシュカード

ペットボトルのふた(キャップ)

固まった油を、こそげる時に。洗剤で汚れを浮かせてから使うと効果的。

### ★ストッキング

三つ編みにして蛇口のステンレス磨きに。水分を拭き取ってから使うのがポイント。

### ★古いスポンジ

やわらかい方にカッターで切れ目を入れて、窓のレール拭きに。

### ★卵のカラ

焦げたフライパンに。細かく砕いてタワシで洗うとコゲが取れます。



## 編集後記

毎月2回大正琴を習っていて、その日の午後に参画センターに来ます。

9月9日に東北支部発表会のため、仙台で「はぐれ花」と「女に生まれて」を演奏してきました。弘前駅を6:37に出発して、日帰り21:29に弘前駅に帰って来たので、疲れたけど楽しかったです。ボランティアスタッフ：梶山里香



<制作>市民ボランティアスタッフ

<制作協力>弘前市ボランティア支援センター

〒036-8355 弘前市大字元寺町1-13 弘前市民参画センター内

TEL: 38-5595 FAX: 36-1822

H P: www.city.hirosaki.aomori.jp/volunteershien/

情報紙についての意見・感想をお待ちしております。